

---

◎行政報告について

○議長（山本浩平君） 日程第4、行政報告を行います。

町長から行政報告の申し出がありましたので、これを許可いたします。

戸田町長。

〔町長 戸田安彦君登壇〕

○町長（戸田安彦君） 平成26年白老町議会定例会12月会議の再開に当たり行政報告を申し上げます。

初めに東京都庁における観光PR事業についてであります。本事業については登別市・白老町観光連絡協議会が去る11月26日から12月2日までの1週間東京都庁内の観光PRスペースで実施したもので、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを見据え、同年本町に開設される民族共生の象徴となる空間「国立博物館」を広くPRしたほか虎杖浜たらこやハンバーグ、野菜、スイーツなど地場産品の直売も実施し期間中の入場者数も約2,600人と好評をいただいたところであります。

次に東京白老会の存続及び総会の開催についてであります。東京白老会の存廃については事務事業の見直し項目において廃止の検討がされておりましたが、本年の予算等審査特別委員会の審議において議員の皆様からも継続すべきとのご意見もいただいていたところであります。本会の望月会長とも協議を重ね最大限経費の削減に努めるとともに事務局機能の会員への移管についても継続協議していくことを条件に存続する方針に至ったところであり、11月27日全国町村会館において開催された総会において存続が了承されたところであります。また総会当日は会員、来賓、関係者合わせて89人が出席し地元食材の試食、販売、特産品抽選会なども行われご盛会でありましたことをご報告いたします。

次に「アイヌミュージアムフェア・イン名古屋・松阪」についてであります。本事業はアイヌ文化に対する関心を広めアイヌ民族博物館への誘客につなげる目的から11月29日名古屋市、30日松坂市において実施したものであります。道外ではことし1月の福岡公演に次いで6回目となる移動博物館事業で、アイヌ民族博物館等と協議会を設立し平成22年度から文化庁の補助金を活用して実施しているところであります。開催に当たりましては名古屋公演では名古屋民族舞踊研究かすりの会、松阪公演では10月25日に姉妹博物館提携を結んだ松浦武四郎記念館など多くの関係機関の協力をいただきそれぞれ400人と200人の来場がありました。ムックリ演奏体験や学芸員講和、アイヌ古式舞踊の公演などを通じアイヌ文化に触れる機会のない東海地方の方々にその一端を体験していただき大きな感動を与えることができました。来場いただいた方々からはアイヌ文化復興の意義や国立博物館開設の重要性など象徴空間の2020年の一般公開に期待する声を多くいただきました。本事業は道外の方にアイヌ文化に対する興味・関心や白老町の知名度を高めることはもちろんのこと、象徴空間について知っていただく効果的な事業として象徴空間開設に向けて今後も継続して取り組んでまいりたいと考えております。

最後に本12月会議には議案5件を提案申し上げておりますのでよろしくご審議賜りたいと存じます。